第3種郵便物認可　徳島新聞　2014年(平成26年)12月26日　金曜日

阿南市内の自主防災組織

地区単位で連携進む

情報を共有 合同で訓練

災害時の共助期待

阿南市の各地区で自主防災組織の連携が進んでいる。市内14地区のうち6地区で自主防災組織の連合体が発足。福井地区は全18組織で自主防災連絡会を設けたのをはじめ、8月の台風11号によって深刻な浸水被害を受けた加茂谷地区では、全8組織で自主防災会連合会をつくった。各組織が近隣地域の情報を共有したり、合同訓練を行ったりして、災害の際の救助活動に生かす。

阿南市には12月時点で227の自主防災組織がある。市社会福祉協議会が2012年から自主防災組織の連携を呼び掛け、13年ごろから市も促している。福井、加茂谷のほか、長生（8組織）、富岡（22組織）、桑野（24組織）の3地区で連合体ができている。もともと1組織の橘地区は連合会を兼ねる。

各地区で自主防災組織が連携すれば、危険な箇所や避難所に関する情報を共有することが可能になる。災害が起こった際には、スムーズに近隣の自治体に応援を求めたり、備蓄物資が豊富な地域が少ない地域に分けたりすることができる。

情報の伝達が迅速になる利点もある。災害時、市からの情報を各組織に下ろしたり、避難者数などの情報を市に上げたりする際、連合会が仲介することで素早く伝達できる。市は全14地区での連携を目指している。

福井地区は市社協が呼び掛ける前の08年に自主防災連絡会を結成。毎年、全18組織が参加する防災訓練を実施している。大人数が各地で避難所生活を送る際の課題を話し合う場も設けて南海トラフ巨大地震に備え、福井町内18の自主防災会が集まって行われた被災直後の課題や対策を考えるワークショップ＝3月17日、阿南市福井町の福井公民館

加茂谷地区でも豪雨災害後の10月に連合会が結成された。同会の町田治幸会長（76）らが「またいつ起こるか分からない災害に備え、助け合える態勢を整えておくべきだ」との声を上げ、予定していた時期を2カ月ほど早めた。

県防災センターによると、阿南市のほか、阿波市や美波町が連携に取り組んでいる。（岡田麻衣）

牟岐町と地元の移動スーパー

高齢者見守りで協定

牟岐町は、海部郡内で食品スーパーを経営するオオキタ（同町）と「高齢者等地域見守り活動に関する協定」を結んだ。オオキタは2015年1月19日から郡内で移動販売事業に乗り出すのを機に、訪問先のお年寄りらの安否確認にも取り組む。

オオキタは14年9月、移動スーパー事業を展開する「とくしま丸」（徳島市）と業務提携した。来年から近くに商店がない美波、牟岐両町の訪問希望者宅を移動販売車で回り、買い物を楽しんでもらう。1日当たり約40戸を回る。

協定では、訪問先の住民の安否を確認するとともに、何らかの異常を察知すれば速やかに町や警察に連絡するとしている。普段見かけない不審車両にも注意を払い、安全な町づくりを目指す。

町役場で協定締結式があり、オオキタの池田美香社長ら4人が出席。福井雅彦町長が「家まで来てもらえればお年寄りは心強いと思う」とあいさつし、協定書を交わした。

池田社長は「足腰が弱ってお年寄りが店舗まで足を運びにくくなっている現状を肌身で感じている。少しでもお役に立つことができたら」と話している。（谷利彦）

新庁舎規模 現在の7倍

中央広域連合 西消防署 構想示す

老朽化に伴う建て替えが課題になっている徳島中央広域連合西消防署（吉野川市山川町三島）の新庁舎の基本構想が25日、同市鴨島町の同連合消防本部で開かれた連合議会12月定例会で示された。建物の規模は、現庁舎の約7倍に拡大。防災センターや消防隊員の訓練施設を備え、2019年度完成を目指す。

基本構想によると、敷地4200平方㍍に建築面積2200平方㍍の庁舎を建てる。現在の西消防署より敷地は6・5倍、庁舎は7倍広くなる。

庁舎以外には多目的訓練場（1200平方㍍）と駐車場（800平方㍍）、防災センター（約400平方㍍）も設ける。

西消防署は吉野川市の山川町、美郷地区、川島町の一部と阿波市阿波町を管轄している。新庁舎の建設場所は、利便性などを考慮して移転を軸に検討を進める。事業費は、基本計画の策定段階で算出する。

現庁舎は1971年の建設。建物の老朽化が進んでいる上、車両の大型化によって所有車両7台のうち4台が車庫に収まらない状態になっている。（藤川佳宏）

市長の予定

26日

◆徳島　午前、鷲の門でじめ飾りの取り付け。午後、消防分団年末特別夜間警戒巡視。

◆鳴門　午前、板東ビクトリー女組表敬訪問。午後、県建築士会鳴門地域会との災害時協定調印式。

◆小松島・吉野川・阿波・美馬　午前、庁内協議。午後、仕事納め式。

◆阿南　午前、日亜化学工業寄付金受領お礼。午後、永年勤続者表彰・仕事納め式。

◆三好　午前、午後とも庁内協議。

【紙面編集】青木忍

お悔やみ申し上げます

【徳島】檜邦松さん(59)北田宮4
日下美智子さん(83)山城町東浜傍示
赤池登貴子さん(85)丈六町長尾
三木弘子さん(88)応神町古川字北仲義秋さん(90)庄町4

【鳴門】吉田弘子さん(80)里浦町里浦
稲木米子さん(74)瀬戸町堂浦
長野将士さん(49)大津町大代

【小松島】藤本睦子さん(78)天林町宮ノ本

【阿南】佐伯マチエさん(91)見能林町青木
森つるゑさん(89)富岡町東仲町
四宮ミチエさん(89)黒津地町中地
狭子美代子さん(57)那賀川町中島

【吉野川】大崎ミツ子さん(87)鴨島町西麻植
篠原善吉さん(85)美郷湯下

【美馬】藤本フクエさん(85)美馬町昭和
吉田晴美さん(81)穴吹町舞中島
藤スミコさん(89)美馬町里西屋敷
二宮義信さん(76)美馬町清田
藤堂悦子さん(68)美馬町東宗重

【那賀】曽根作太さん(79)木頭南宇
吉岡豊さん(89)日浦
南幸雄さん(71)小畠

【海陽】小川ハナエさん(100)浅川

【鷲住】米田憲さん(65)東中富

【上板】加川喜満子さん(93)椎本

父　仲　義秋儀　かねて病気療養中のところ十二月二十四日九十歳を一期として永眠いたしました　ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます
なお告別式は左記の通り仏式にて執り行います

記

一日時　十二月二十六日
午後零時半～一時半（出棺）
一場所　イマデヤ葬会館（徳島市寺町九五一二）
平成二十六年十二月二十六日
徳島市庄町四丁目二十四番地

喪主　仲正
次男　仲敬
親戚一同
ナカ歯科医院　敬三

イマデヤ 葬会館
TEL(088) 622-4455
FAX(088) 626-3380
仲家ご葬儀ご用達　花環・棺・生花のご用命は